

平成17年2月3日
原子力安全対策課
(16-111)
<16時記者発表>

安全協定上の異常事象に該当しない軽微な事象

新型転換炉ふげん発電所の原子炉補助建屋廃棄物処理室での水漏れについて

1. 概要

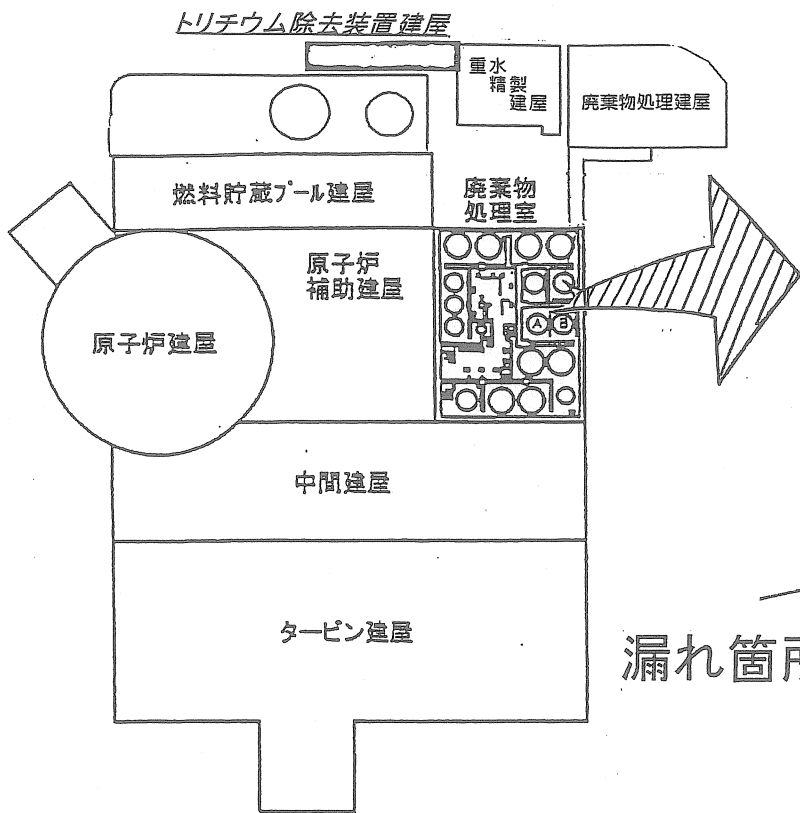
新型転換炉ふげん発電所(新型転換炉；定格電気出力16.5万kW)は、廃止措置準備中であるが、廃棄物処理建屋にある粒状廃樹脂貯蔵タンクFのデカント水(上澄み水)を原子炉補助建屋廃棄物処理室にある床ドレンサンプルタンクに移送する作業を行っていたところ、本日10時42分に、同処理室の床ドレン配管からの漏えいが確認された。

このため、直ちにデカント水移送ポンプを停止し、11時10分に漏えいは停止した。その後、漏えいした水の拭き取りを行い、12時6分に拭き取り作業を終了した。

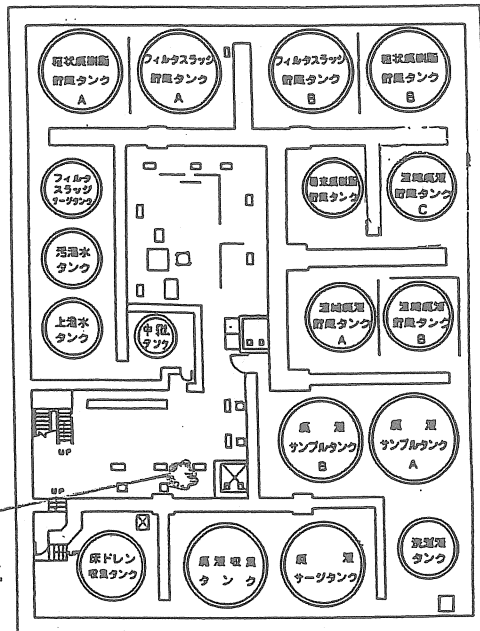
今後、当該配管について点検等を行う。

なお、この事象による環境への影響はない。

問い合わせ先(担当：嶋崎)
内線2353・直通0776(20)0314

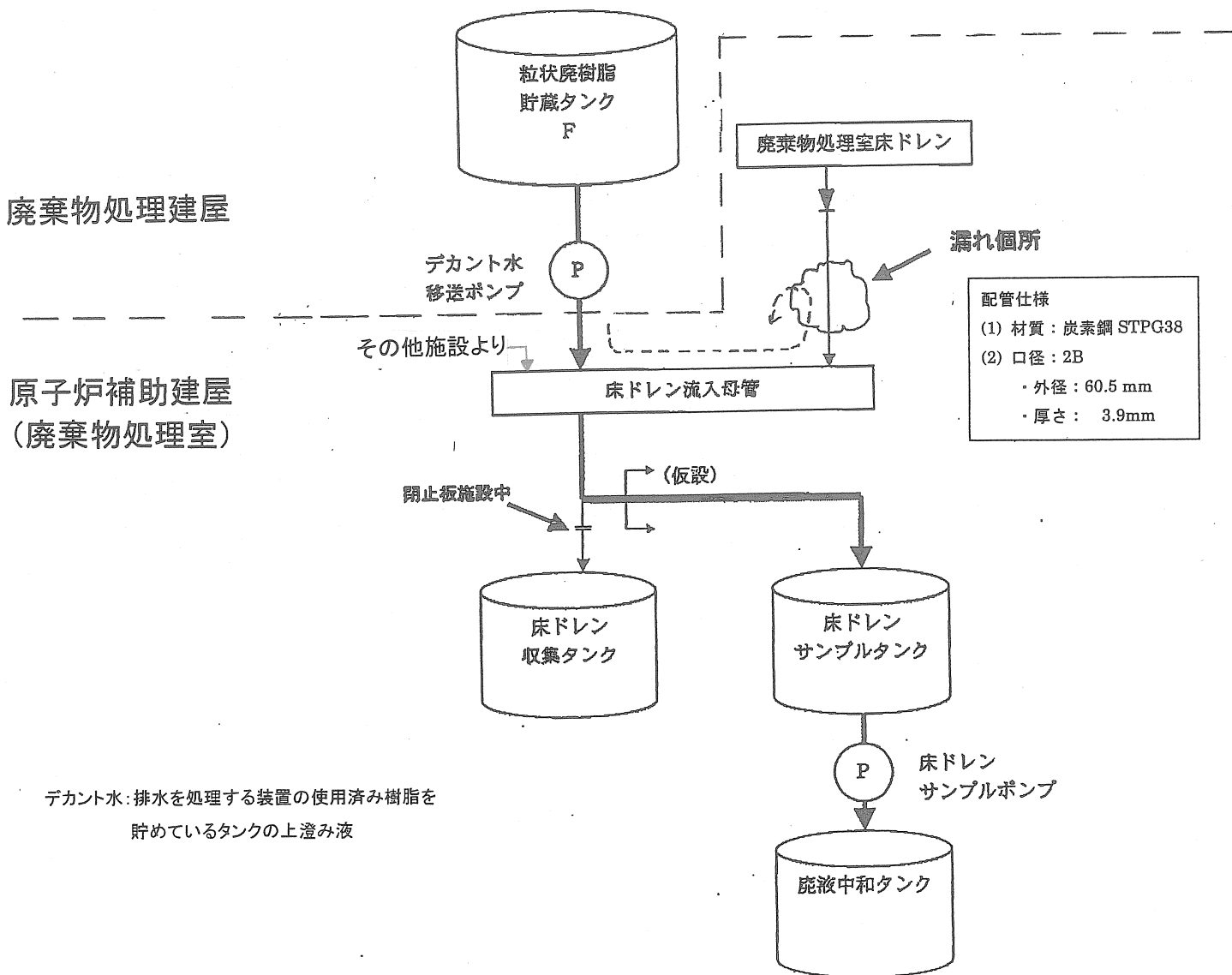


全体機器配置図
(廃棄物処理室 地下1階)



漏れ箇所

廃棄物処理室平面図(地下1階)



配管仕様

(1) 材質: 炭素鋼 STPG38
(2) 口径: 2B
・ 外径: 60.5 mm
・ 厚さ: 3.9mm

デカント水: 排水を処理する装置の使用済み樹脂を貯めているタンクの上澄み液

デカント水移送状況図